

# 海洋調査技術学会

2021事業年度

## 第33回通常総会

期日：令和3年12月17日(金)～令和4年1月7日(金)

場所：書面(メール)による

# 第33回通常総会

(2021事業年度)

## 議事次第

1. 期日：令和3年12月17日(金)～令和4年1月7日(金)

2. 場所：書面(メール)による

3. 議事：

- |                          |       |         |
|--------------------------|-------|---------|
| (1) 2020事業年度 事業報告案について   | 第1号議案 | (承認事項)  |
| (2) 2020事業年度 決算報告案について   | 第2号議案 | (承認事項)  |
| 2020事業年度 監査報告            |       |         |
| 2020事業年度 会員数の推移について      |       |         |
| (3) 2021事業年度 事業計画案について   | 第3号議案 | (承認事項)  |
| (4) 2021事業年度 予算案について     | 第4号議案 | (承認事項)  |
| (5) 2020事業年度 岩宮賞、永田賞について |       | (報告事項1) |
| (6) 2021事業年度 新評議員について    |       | (報告事項2) |
| (7) 2021事業年度 新役員について     |       | (報告事項3) |

**2020事業年度事業報告案**  
(2020.10.1~2021.9.30)

**1. 総会及び委員会等**

(1) 第32回通常総会の開催

期日：2020年12月18日～

2021年 1月 8日

場所：書面（メール）審議

議題：2019事業年度事業報告及び決算報告について

2020事業年度事業計画案及び予算案について

(2) 評議員会、各委員会の開催

下記の会議が開催された。

ア) 評議員会

期日：2020年11月26日

場所：オンライン会議

イ) 企画委員会

第1回 期日：2021年6月10日

場所：オンライン会議

第2回 期日：2021年10月6日

場所：オンライン会議

ウ) 編集委員会

適宜、メールにて対応。

**2. 研究成果発表会及び講演会等**

(1) 第32回研究成果発表会

期間：2020年11月5日～6日

場所：オンライン開催

発表：招待講演 2件

研究成果 12件

(2) 機器展示案内

期間：2020年11月5日

場所：オンライン開催

参加数 4社

(3) 一般講演会（海洋調査技術の啓発、地方講演）

実施なし

(4) 出前講座（海洋調査技術の啓発、関東地方）

実施なし

(5) 講演会、シンポジウム等の共催

実施なし

3. 学会誌

- ・コロナ禍等のため未発行

4. ニュースレター

- ・コロナ禍等のため未発行

5. HP運用・メールマガジンの配信

- ・HP URL : <http://jsmst.org/>
- ・学会関連情報等を会員に配信した。

6. 講演会・シンポジウム等への協賛

(1) Techno-Ocean 2021

主催：テクノオーシャン・ネットワーク  
期間：2021年12月9日～12月11日  
場所：神戸国際展示場、Web開催のハイブリッド方式

(2) 第49回可視化情報シンポジウム

期間：2021年9月9日～9月11日  
場所：慶應義塾大学日吉キャンパス

(3) 第6回海中海底工学フォーラム・ZERO

主催：海中海底工学フォーラム・ZERO運営委員会  
期間：2021年10月8日  
場所：オンライン開催

(4) 第29回海洋工学シンポジウム

主催：日本海洋工学会、日本船舶海洋工学会  
期間：2022年3月7日～3月8日  
場所：オンライン開催

(5) 石油技術協会 令和3年度 秋季講演会

期間：2021年10月22日  
場所：オンライン開催

7. 講演会・シンポジウム等への後援

実施なし

**2020事業年度決算報告**  
(2020. 10. 1～2021. 9. 30)

&lt;一般会計&gt;

(収入の部)

(単位：円)

科目	予算額	決算額	備考
<b>前年度繰越金</b>	<b>5,085,695</b>	<b>5,085,695</b>	
<b>会費収入</b>	<b>2,848,000</b>	<b>2,406,770</b>	
正会員会費	1,378,000	1,146,000	納入：188名（うち、エスエムビーシーファイナス27名）
賛助会員会費	1,470,000	1,260,770	納入：36社（うち、エスエムビーシーファイナス3社）
<b>事業収入</b>	<b>140,000</b>	<b>100,388</b>	
広告掲載料	16,000	0	
機器展示料	80,000	85,000	納入：4社(20,000円×3社、25,000円×1社)
非会員大会参加費	4,000	4,000	2名
諸出版物代金	40,000	10,388	海洋調査フロンティア等
要旨集代金	0	1,000	1件
<b>雑収入</b>	<b>4,680</b>	<b>4,530</b>	懇親会収入、利子等
懇親会収入	0	0	
雑収入	4,680	4,530	利子、エスエムビーシーファイナス利用者からの回収手数料。
<b>合 計</b>	<b>8,078,375</b>	<b>7,597,383</b>	

(支出の部)

(単位：円)

科目	予算額	決算額	備考
<b>事務費</b>	<b>1,680,000</b>	<b>1,041,870</b>	
会議費	100,000	5,916	駐車料金等
賃金	386,000	206,350	編集事務支援
查読謝金	24,000	0	
通信運搬費	200,000	75,653	発送費、ネット料金等
諸印刷費	20,000	7,381	コピー代
消耗品費	20,000	0	
事務委託費	900,000	739,200	毎日学術フォーラム事務委託費
雑費	30,000	7,370	振込手数料等
<b>事業費</b>	<b>1,420,000</b>	<b>128,052</b>	
事務局移転経費	100,000	24,900	事務局引越費用
会誌印刷費	1,000,000	0	
発表会運営費	150,000	83,152	Zoom使用料、窓口費用等
名簿印刷費	100,000	0	
懇親会費	0	0	
要旨集印刷費	0	0	
一般講演費/出前講座費	50,000	0	
諸会費	20,000	20,000	日本海洋工学会
<b>予備費</b>	<b>100,000</b>	<b>0</b>	
<b>次年度繰越金</b>	<b>4,878,375</b>	<b>6,427,461</b>	
<b>合 計</b>	<b>8,078,375</b>	<b>7,597,383</b>	

# 海洋調査技術学会

## 2020事業年度会計監査報告

監査の結果、2020事業年度の一般会計\*は、適正に処理されていることを確認しました。

令和3年11月29日

会計監査 氏名

中野 勝夫

印

会計監査 氏名

山石 新

印

\*備考 「特別会計」は、2018事業年度末をもって停止。

## 2020事業年度の会員数の推移について

(2021年9月30日現在)

令和3年10月31日  
海洋調査技術学会事務局

### 1. 正会員

年度当初の会員数	278名	(うち学生会員 4名)
年度内の入会者数	3名	(うち学生会員 0名)
年度内の退会者数	12名	(うち学生会員 1名)
年度末の会員数	269名	(うち学生会員 3名) : 9名減

### 2. 賛助会員

年度当初の会員数	41社
年度内の入会者数	0社
年度内の退会者数	1社
年度末の会員数	40社

**2021事業年度事業計画案**  
(2021.10.1~2022.9.30)

1. 総会及び委員会等

(1) 第33回通常総会の開催

期日：2021年12月17日～2022年1月7日

場所：書面審議

(2) 評議員会の開催

第1回

期日：2021年12月8日

場所：オンライン開催

(3) 総務、企画、編集、広報委員会の開催

適 宜

2. 研究成果発表会及び講演会等

(1) 第33回研究成果発表会

期間：2021年11月18～19日

場所：オンライン開催

(2) 機器展示案内

期間：2021年11月18日

場所：オンライン開催

(3) 一般講演会（海洋調査技術の啓発、地方講演）

期日：未定

場所：未定

(4) 出前講座（海洋調査技術の啓発）

期日：未定

場所：未定

(5) 講演会、シンポジウム等の共催

期日：未定

場所：未定

3. 学会誌

・海洋調査技術第32巻1号（通巻62号）（2022年3月）

・海洋調査技術第32巻2号（通巻63号）（2022年9月）

【備考】31巻1号（2019年3月号）を最後に刊行が滞っている学会誌について、可及的速やかに正常化を図ることとする（別紙の補足説明参照）。

4. ニュースレター

隨時、会員に送付

5. HP運用・メールマガジンの配信

- ・HP URL : <http://jsmst.org/>
- ・隨時、会員に配信

6. 講演会・シンポジウム等への協賛

適宜実施

**2021事業年度予算案**  
(2021.10.1~2022.9.30)

&lt;一般会計&gt;

(収入の部)

(単位：円)

科目	予算額	備考
<b>前年度繰越金</b>	<b>6,427,461</b>	
<b>会費収入</b>	<b>2,736,000</b>	
正会員会費	1,336,000	納入：269名（うち、学生会員3名）
賛助会員会費	1,400,000	納入：40社
<b>事業収入</b>	<b>100,000</b>	
広告掲載料	16,000	納入：1社 × 1回
機器展示料	40,000	納入：2社
非会員大会参加費	4,000	2名
諸出版物代金	40,000	海洋調査フロンティア等
<b>雑収入</b>	<b>4,530</b>	雑収入、利子等
懇親会収入	0	懇親会非開催
雑収入	4,530	利子、エスエムビーアイファイナス利用者（27名、3社）からの回収手数料。
<b>収入合計</b>	<b>9,267,991</b>	

(支出の部)

(単位：円)

科目	予算額	備考
<b>事務費</b>	<b>1,680,000</b>	
会議費	100,000	委員会等出席旅費、会議室借料
賃金	386,000	学会誌編集作業アルバイト代金（交通費含む）
査読謝金	24,000	学会論文査読等
通信運搬費	200,000	諸発送費、ネット料金等
諸印刷費	20,000	封筒、コピー代
消耗品費	20,000	文具代等
事務委託費	900,000	毎日学術フォーラム事務委託費
雑費	30,000	振込手数料等
<b>事業費</b>	<b>1,130,000</b>	
事務局移転経費	10,000	事務局移転
会誌印刷費	1,000,000	会誌年間2号発行
発表会運営費	50,000	オンライン開催、窓口費用等
名簿印刷費	0	評議員選挙なし
懇親会費	0	懇親会非開催
要旨集印刷費	0	要旨集印刷なし
一般講演費／出前講座費	50,000	交通費、講師謝金等
諸会費	20,000	日本海洋工学会 年会費
<b>予備費</b>	<b>100,000</b>	PCソフト購入等
<b>次年度繰越金</b>	<b>6,357,991</b>	
<b>合 計</b>	<b>9,267,991</b>	

## 2021事業年度 岩宮賞、永田賞について

2021事業年度、岩宮賞及び永田賞については、該当者はありませんでした。

## 海洋調査技術学会新評議員について

### (2020 事業年度選挙結果報告)

石井 春雄	(いしい はるお)	
植平 賢司	(うえひら けんじ)	【(国研) 防災科学技術研究所】
沖野 郷子	(おきの きょうこ)	【東京大学大気海洋研究所】
加藤 幸弘	(かとう ゆきひろ)	【海上保安庁海洋情報部】
笠谷 貴史	(かさや たかふみ)	【(国研) 海洋研究開発機構】
久保田 隆二	(くぼた りゅうじ)	【川崎地質株】
塩原 肇	(しおばら はじめ)	【東京大学地震研究所】
下島 公紀	(したしま きみのり)	【東京海洋大学】
中野 健一	(なかの けんいち)	【コングラベルグ マリタイム シャパン株】
永井 紀彦	(ながい としひこ)	【(株) エコー】
藤田 雅之	(ふじた まさゆき)	【海上保安庁第十一管区海上保安本部】
三澤 文慶	(みさわ あやのり)	【(国研) 産業技術総合研究所】
道田 豊	(みちだ ゆたか)	【東京大学大気海洋研究所】
横田 裕輔	(よこた ゆうすけ)	【東京大学生産技術研究所】
(50 音順、敬称略)		

## 海洋調査技術学会新役員について

会長 : 道田 豊 【東京大学大気海洋研究所】  
副会長 : 永井 紀彦 【(株) エロー】  
" 加藤 幸弘 【海上保安庁海洋情報部】  
会計監査 : 中陣 隆夫 【丸源書店】  
" 仙石 新 【朝日航洋(株)】  
総務委員長 : 石井 春雄  
企画委員長 : 久保田 隆二 【川崎地質(株)】  
編集委員長 : (選任を保留)  
広報委員長 : 沖野 郷子 【東京大学大気海洋研究所】

## 第3号議案第3項（学会誌の刊行）に係る補足説明

### 1. 経緯

学会誌については、2019事業年度以降、第31巻1号（2019年3月号）は刊行されたものの、第31巻2号（2019年9月号）は遅れ気味で編集作業が進行していたところ、新型コロナウイルス感染症の流行による行動制限がかかったこと等により、当該作業がさらに遅れ、現在も刊行されていません。

学会誌の刊行は学会活動の根幹の一つであり、会員の皆様へ学会誌を刊行計画通りお届けできなかつたこと、特に投稿いただいた会員の皆様には公表が遅れてしまつましたことについて、執行部（会長、副会長）としてお詫び申し上げます。

### 2. 今後の対応方針

この現状を改め、学会誌の刊行を進めるため以下の対応を取ることといたしたいと思います。

#### （1）手持ち原稿等の処理

第31巻2号（2019年9月号）に掲載予定の原稿4編、第32巻1号（2020年3月号）に掲載予定の原稿7編、掲載号未定および査読結果の著者への通知未了の原稿計3編について状況確認を行い、2021年12月7日までに、その所在と処理状況を確認した。

これらについて、執行部（会長、副会長）が事務局及び編集委員の方々の協力を得て、印刷刊行に向けた作業を進め、第31巻2号および第32巻1号に掲載予定だった原稿等については、2022年3月を目途に刊行する。

掲載号未定の原稿についても同体制により処理を進め、2021事業年度のできるだけ早い時期に刊行する。

#### （2）編集委員会の体制

前項のめどがついた段階で、仮にコロナ禍が継続するような状況においても、学会誌を安定的に刊行できる編集体制を構築するため、評議員会において2021事業年度からの編集委員長を選任し、体制および刊行スケジュールの正常化を図る。この事情により、2021事業年度第1回評議員会（2021年12月8日オンライン開催）では、編集委員長の選任を保留した。

上記の対応を行うことを前提とし、第3号議案第3項を提案しました。